

2人にちは



News from the city council

No.118

令和4年11月

豊前市議会です



予算決算委員会の様子

9月定例会 (8/31~9/21) 主な内容

目次
CONTENTS

議案の概要・特別委員会の経過報告	2~4P
令和4年9月定例会議案審議結果	5P
一般質問	6~9P
トピックス・編集後記	10P



議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-8137 (直通)

ホームページ/<https://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

第4回定例会

令和4年第4回定例会は、8月31日から9月21日までの22日間の会期で開催されました。

本定例会初日に、市長より、条例案件1件、組合規約案件1件、補正予算案2件、決算案件9件、報告案件6件の合計19件が提出されました。

それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、原案どおり可決、認定されました。

なお、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号、議案第42号について、反対討論がありました。

最終日には、文教厚生委員会より、意見書案1件が提出され、原案どおり可決されました。

また、市長より人事案件2件が提出され、原案どおり、同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。
(敬称略)

人権擁護委員の候補者

豊前市大字赤熊 森本 隆雄
豊前市大字大西 畑邊 克幸
豊前市大字鳥井畑 矢鳴 実佳

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

教育委員会委員

豊前市大字恒富 上田 静香



文教厚生委員会の申し入れ事項

◎市バスについては、デマンドタクシーを含め利用状況を調査し、より詳細な資料を提出すること。また、物流を含め民間とのタイアップなど、官民連携の取組を調査研究すること。

総務委員会の申し入れ事項

◎ベトナム訪問において、豊前市の特産品を紹介、ビジネスマッチングを行ったようであるが、しっかりとした市場調査が必要である。ビジネスとして成立するよう生産者との調整、輸送手段等、計画性を持って取り組むこと。
◎コンテナホテルの開業を機に、市営駐車場の有効活用を中心とした、駅前開発を検討すること。

予算決算委員会の申し入れ事項

◎農業の活性化にとって、全国農地ナビを利用して新たな農地の受け手に繋げることは必要ではあるが、そのことによる地域とのトラブルが発生しないよう、地元農業者の意見を十分に聞き、調整を行うこと。
◎市をPRする動画等を作成した場合は、動画内容や配信情報を議会に報告すること。また、多くの方に閲覧してもらえるよう、より積極的な情報発信を行うこと。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・岡本清靖
文教厚生委員会	◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治
産業建設委員会	◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一・郡司掛八千代・爪丸裕和
予算決算委員会	◎福井昌文○村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代 ・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖・爪丸裕和
議会運営委員会	◎岡本清靖○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

住民の納得できる予算執行がなされたか？

令和3年度の 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、予算決算委員会で、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月15日～16日の2日間にわたり開催し、令和3年度の一般会計歳入歳出決算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされました。



《令和4年度一般会計補正予算の概要》

【議案第35号】 令和4年度豊前市一般会計補正予算(第5号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇国際交流費	1,900千円
◇高齢者補聴器購入費助成金	100千円
◇アピアランスケア助成金	300千円
◇新型コロナウイルスワクチン接種事業	38,447千円
◇非常備消防費	3,376千円
◇地域スポーツ活動推進事業	7,189千円
◇土木施設災害復旧費	9,111千円

《意見書案第5号》文教厚生委員会より提出

国民健康保険財政への国庫負担割合引上げを求める意見書

今後、医療費の増大が見込まれる中、被保険者に過度な負担を負わせることなく、国民健康保険を将来にわたり持続可能な制度として維持するため、1兆円規模の公費投入による財政基盤の強化に加え、均等割の撤廃を行い、国民健康保険税の負担を軽減するよう、国へ強く要望しました。

「豊前開発環境エネルギー株式会社 調査特別委員会」が設置されました!!

【委員名簿】

◎…委員長 ○…副委員長

◎爪丸裕和○平田精一・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一・郡司掛八千代・岡本清靖

【経過報告】

特別委員会は、これまでに3回開催されました。この委員会は、豊前市が出資している第3セクター「豊前開発環境エネルギー株式会社」役員が有印公文書偽造により逮捕された事件について、会社の事業内容や事件発生の経緯を調査するものです。

第1回は特別委員会の正・副委員長を決めました。委員会の内容は、以下のとおりです。

第2回(8月31日開催)

同日に開催された議員全員協議会において、豊前市が豊前開発環境エネルギー株式会社に出資してから現在までの経過が報告されており、さらに同社のことを詳しく調査するため、定款、決算書、履歴事項全部証明書、覚書等の資料提出を執行部に求めました。

第3回(9月8日開催)

前回提出を依頼した資料について、執行部より説明を受けました。そこで、同社が平成26年の設立時から赤字が続いていたが令和2年度決算に黒字転換したこと、平成26年度から現在まで、ヘドロ化抑制、あさり漁場の改善等を目的にHiビーズ(石炭灰造粒物)実証実験が八屋地先海域の干潟域で行われていることを確認しました。

令和4年9月定例会 議案審議結果

「○」…… 賛成 「●」…… 反対
「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸 晃	村上 勝二	為藤 直美	内丸 伸一	秋成 英人	郡司掛 八千代	黒江 哲文	平田 精一	福井 昌文	鎌田 晃二	岡本 清靖	尾澤 満治	爪丸 裕和	賛成	反対
議案第33号	豊前市バス事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第34号	豊前市外二町清掃施設組合の共同で処理する事務の変更及び豊前市外二町清掃施設組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第35号	令和4年度豊前市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第36号	令和4年度豊前市バス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第37号	令和3年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第38号	令和3年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第39号	令和3年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第40号	令和3年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第41号	令和3年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第42号	令和3年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第43号	令和3年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第44号	令和3年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第45号	令和3年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
意見書案第5号	国民健康保険財政への国庫負担割合引上げを求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第3号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0



議長
尾澤 満治



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『平成会』の一般質問



福井 昌文



鎌田 晃二



黒江 哲文



平田 精一



秋成 英人



内丸 伸一

【質問項目】

(内丸伸一議員)

① 豊前市の取り組み

(秋成英人議員)

② 男性職員の育休

③ 選挙啓発活動

④ 農林水産業の今後のあり方

(鎌田晃二議員)

⑤ 豊前市の諸問題

⑥ 前議会一般質問のその後

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会 検索

豊前市の取り組みについて

内丸議員 防災の観点から、災害情報を把握し、必要な対策を検討、実施することが大切である。担当が、総務課、建設課、農林水産課等に分かれるため、情報を共有し、連携して対応していただきたいと思うが、いかがか。

総務課長 災害発生時には、情報共有により、スムーズな連絡調整、迅速な対応につながる。現在も庁内関係部署間で情報共有に努めており、引き続き情報共有、連携に取り組む。

内丸議員 まだ足りない気がするので、しっかりと情報を共有し、対策を取っていただきたい。

続いて国際交流について、市では、以前より中国、ハワイと交流しており、昨年からはベトナム、台湾とも交流を進めている。二兎を追う者は一兎をも得ずではないが、四兎も追って大丈夫なのかと思う。中国との交流は、今後どうするのか。

国際共生推進室長 中国通産県との交流事業は、平

成5年度から開始しているが、現時点ではコロナ禍であり、積極的な交流は考えていない。

内丸議員 ハワイとの交流は、市内在住の中学生がホームステイで異文化を学ぶ貴重な体験ができ、宣伝効果もある事業だが、市はPRが下手なうえ、近年のコロナ禍で事業自体ができていない。今後も続ける考えはあるのか。

国際共生推進室長 ハワイへのホームステイ事業は、新型コロナウイルス感染症拡大、ハワイのホストファミリーの高齢化等の理由により、令和2年度以降、実施を断念している。今後は、新型コロナウイルス感染症状況、現地の受け入れ先の状況、受け入れ態勢等を確認しながら検討する。

内丸議員 台湾・ベトナムとは今後どのような交流をしていくのか。

国際共生推進室長 サテライトキャンパス構想の実現に向けて、現在取り組みを進めている。

内丸議員 市内の小中学生と交流できれば、視野も広がり、相互理解が進めば、世界平和にもつながる可能性もある。せっかくのチャンスなので、逃さないよう、しっかりと取り組んでいただきたい。

市長 若い世代が交流し、理解を深めていくことは大事なことである。それに加え、将来の人的交流が経済交流につながっていくようにしていかなければいけない。外国の方が豊前市に移籍・移住するような流れもつくっていかねばならないと思う。

内丸議員 この取り組みを成功させるには、市長の熱意と職員の頑張り、そして地域住民の協力、理解が大事である。地域の方々も納得できるような説明等をしっかりとやっていただき、進めてもらいたい。



男性職員の育休について

秋成議員 本年10月から地方公務員の育児休業等に関する法律などの一部を改正する法律が施行される。これは地方公務員の育休取得を後押しするためのものである。茨城県龍ヶ崎市役所では、男性職員の育休取得が定着しており、7年連続100%の取得率となっている。一方で総務省調査では、地方公務員の男性の育休取得率は、令和2年度で13.2%となっており、先の自治体の例とは大きく乖離している。豊前市の育休取得の状況について説明をお願いする。

総務部長 令和元年度はゼロであったが、令和2年度は25%、令和3年度は50%となっている。
秋成議員 現状、女性職員に比べて男性職員の取得ができていないようであるが、どのような理由があるのか考えを聞きたい。
総務部長 様々な要因が考えられるが、仕事に関する旧来の価値観が根深いというのが要因の一つではな

いかと分析している。子育て支援に関する理解がまだ進んでいないことを反省しており、より推進していく責任があると考えている。

秋成議員 育休取得を推進するということだが、豊前市として何らかの努力をしているのか。
総務部長 対象者への丁寧な説明や状況に応じた育休プランの提示を行っているが、今後は育休取得のメリットの理解促進や相談窓口の周知などを行いたい。

秋成議員 現時点では、育休は権利であり義務ではないが、来年4月から大企業は育児休業取得状況を公表することが義務付けられる。今後ますます加速すると思われる男性の育休取得を民間企業の手本となるべく、市役所が率先して行い、その情報を発信するなどの啓発を行っていくべきかと思う。育休を取得しにくい理由として、上司や同僚の理解を得にくいということが1番に挙げられているが、龍ヶ崎市役所では男性も育休が

当たり前という雰囲気醸成されている。また、佐賀県庁では育児のために2週間以上休むよう促しており、男性職員が育休取得できない場合は理由書の提出を求めている。コロナ禍における産後うつの問題もあり、佐賀県の例は極端かもしれないが、それくらいの浸透性を持って取り組まなければならぬ問題だと考える。市長が率先して育休取得100%を達成すべく取り組むことが重要であると思うが考えを聞きたい。

市長 父親が子育てに参加し、その喜びを味わうことによる様々なプラスの効果により、社会を良くする方向にいくと思う。まだまだ進んで育休を取る雰囲気は醸成されていないことは指摘の通りであり、取りやすい雰囲気をつくっていきたくて改めて思ったところである。

秋成議員 子育てしやすい豊前市をつくりあげるため、ぜひとも豊前市役所がロールモデルとなり得るよう、率先して取り組んでいただきたい。

豊前市の諸問題について

鎌田議員 気象庁では、地域防災支援の取り組みを推進しており、各市町村固有の課題への対応を含め、市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築するとされている。市と気象台との連携等はあるのか。

総務課長 気象台等から発信される情報を確認しながら避難情報等の判断をしており、通常から連携を心掛けながら災害対応にあたっている。

鎌田議員 気象防災情報や避難情報は、命に関わるとても重要なものである。聴覚に障がいのある方々は、画面に表示される文字や記号による情報に頼らざるを得ず、その内容が伝わりにくい現状があるため、リアルタイムの防災情報に関するアクセシビリティの向上を図っていただきたい。また、被害が発生した場合、手話通訳の方を派遣できる体制を考えた方がいいかと思う。平時から手話通訳者の派遣契約を近県自治体など

としておくことが、より確実にリスクを回避できる方法だと思いが、市は派遣等の検討はしているのか。

総務課長 災害時を想定した広域での取り組みは検討できていないが、庁内の関係部署も交えて取り組みを協議できればと考えている。

鎌田議員 もしものために派遣ということも検討していただきたい。また、手話通訳士を育てる環境づくりについても、取り組みを推進していただきたい。

次に、プレミアム商品券について、差出人のない文章が2通も送られてきており、内容は換金期限が過ぎた商品券を換金したのとはおかしいとのことであった。また、商売をされている複数の方から、お客さんから商品券を現金に換えてほしいと頼まれても断り続けており、しっかりとやらなければならないと言われた。執行部には、しっかりと厳格にやっていただきたいと強く申し

上げておく。それから、市がこの事業の実施主体となれない理由を答弁願いたい。

産業建設部長 住民に不信感を持たないように、取り組んでいきたいと思う。実施主体については、県が取り扱い事業者を商工会議所や商店街と指定しており、市が直接扱えないことになっている。

鎌田議員 プレミアム商品券は性善説に頼る部分が大きく、換金など全国的に様々な問題が起こっている。取扱店の方が購入し、使うことなく換金することは許されるのか。

産業建設部長 事業の趣旨は住民や事業者への支援であり、有効に使われることで機能すると思っております。市としては、他の商店等で使っていたらいいと考えている。

鎌田議員 市として事業の趣旨を発しない以上は、それとは反するかたちで使う方も多いと思われる。プレミアム商品券については、市がその趣旨を明示し、消費喚起策というかたちでしっかりやっていただきたいと思う。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無会派』の一般質問

【質問項目】

(梅丸晃議員)

- ① 神楽の伝統継承と観光振興
- ② ゼロカーボンシティ宣言

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 市民生活の環境
- ② 地方創生と地域活性化
- ③ 子ども議会

【質問項目】

(村上勝二議員)

- ① 安倍元首相礼賛の国葬について、市長、教育長の見解を求める
- ② 統一協会との関係の有無を調査し、市民の犠牲者を生まない対策を
- ③ 新型コロナウイルス第7波の対策
- ④ 築城基地滑走路延長事業 (仮称)環境影響評価書案の公告と豊前市の対応
- ⑤ 小中学校再編に対する市民の声にどう向きあっているか

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

神楽の伝統継承と観光振興について



梅丸 晃

祭りに関わることにより、その後の人生に影響を与えると考える。この世代に神楽と触れ合う機会を提供することに対し、執行部の考えを伺いたい。

梅丸議員 豊前市の岩戸神楽は6つの神楽講・保存会が存在し、33の演目がある。まず、神楽を継承するためには、神楽を奉納するための資金面・人材面の対策と、神楽を舞える環境整備が必要であり、神楽を舞う環境がなくなれば必然的に神楽講の存続に影響を及ぼすことになる。この資金面の支援で、ふるさと納税を活用すればと考えるが、執行部の考えを伺いたい。

総合政策課長 ふるさと納税の活用は、社殿改修など直接的な公費の支出となると宗教的要素が大きくなり、できないと考える。今後は、生涯学習課と神楽の関係者で意見交換をし、協議の場を持ちたいと考えている。

梅丸議員 幼少期や思春期の世代に地域の神楽や

梅丸議員 小中学校の再編が計画されているが、神楽がある地域で、神楽を継承する意味でも、伝統芸能部を設立することで、特化した中学校再編になると考える。また、市内にある県立高校にも呼びかけ、中・高が連携することにより、豊前市独自の教育の場が誕生する。地域の特色を生かした学校運営の観点から設立を望むが、執行部の考えを伺いたい。

学校教育課長 ご提案の伝統芸能部は、豊前市の歴史や文化を継承するとともに、地域との密接なつながりも期待され、特色ある学校づくりに繋がると思う。今後、学校再編に向けた開校準備委員会などで協議を行いたいと考えている。



小中学校再編に対する 市民の声にどう向きあっているか



村上 勝二

村上議員 6月の文教厚生委員会、小中学校の再編については、地域住民の意見を聴き、理解を得られるよう、説明の場をより積極的に設けるよう執行部に申し入れた。全小学校区で学校再編の説明会を開くことが当然だと思いが、開催回数と説明会での市民の意見をお聞きする。

教育部長 今年2月に4回、区の要望により3回行った。7月からの市政懇談会では全地区で開催した。アンケートには厳しい意見もあったが、説明していく段階で仕方ないという意見が大部分であった。
村上議員 市政懇談会は、参加人数も少なく、説明を聞くだけで議論は深まらなかったと思う。事前

に区からの質問・要望に応える形で角田公民館であった説明会は、館長が司会者だったが、主催者はどこなのか。この開催の仕方は、市民に対して市の姿勢が問われる問題で、地元からの要請で開催した、これに固執した考えでしかないと思う。廃校を前提とした計画に、地域のコミュニティの中核を担ってきた学校は小中一貫校など形を変えてでも残してほしいというのが、地域の意見だと私は受け止めた。角田の小中一貫校計画が白紙になった経過を伺いたい。

教育部長 そういう計画はもともどなく、小中一貫の取り組みを工夫して生徒を増やすことができないのか、という方向性が示され、小中連携の取り組みを進めてきたところだ。
村上議員 教育みらい検討委員会が学校再編の方針を提言し、その後に関わった通学区区域審議会は、通学区区域を審議する場で学

校再編を検討する場ではないと言っている。地域の要望や再編に対する意見はどこでどう反映し、どこで進めていくのか。
教育部長 教育委員会内で協議し変更した部分もある。今の再編の方針をご理解いただき、これからも説明は続けていく。子どもものことを第一に、しっかりと一緒に考えていきたい。

村上議員 角田地域は市中心部から離れ、単にバス通学をという問題ではない。子育てができないと引越しを考えている家庭もある。ここで生活し子育てをしたいが、これからの教育環境がどうなるのか。子どもたちが健全で豊かに育つまちづくり、地域づくりが全く見えない。この地域の方々の不安な思いは、小中一貫校として残してほしいという声として広がっているのではないかと考える。教育委員会に再考・見直しを求める。

為藤議員 市民生活に直結するごみの収集量と清掃施設組合の全体的な経費について、伺いたい。
生活環境課長 令和3年は、可燃ごみ9512トン、不燃ごみ337トン、古紙・古布304トン、プラスチック製容器83トンである。5年前と比べると不燃ごみだけが増えている。清掃施設組合への負担金は、令和2年度が1億8783万円で、5年前と比べ5166万円の減である。これは起債の償還が終わったことが原因である。

為藤議員 CO2削減のため、これからもごみの減量化など地域住民と共にクリーンなまちづくりをお願いする。
次に、市バスの運営状況や乗車人数をお聞きする。
生活環境課長 令和2年

市民生活の環境について



為藤 直美

度の利用者が4万3407人で、5年前と比べ約2万5千人の減である。バス使用料や県の補助金も減り収支の差額は、一般会計から繰り入れを行っている。

為藤議員 市バスは交通弱者の便利な交通手段として市民サービスに必要だが、何らかの改善をしないと一般会計からの持ち出しが増える一方である。今後の改善策や計画について、伺いたい。

生活環境課長 コロナ禍で利用者が減ったことは明らかである。今後、国・県からの補助金に留意し、利用者の利便性を図りながら状況調査や検証を行い、豊前市内の公共交通の適正化に努めたい。

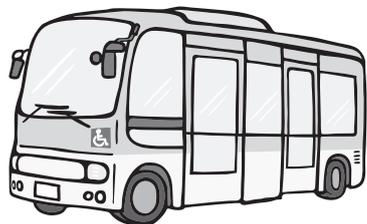
為藤議員 路線、時間帯による乗車人数の調査もしてもらいたい。市バスの調査・検証をし、有効的で便利な運営をお願いする。
次に、空き家の件数、空き家バンクの登録数及び契約件数を伺う。

為藤議員 物件登録数に対して、希望者である利用登録者が2倍いるが、契約成立を増やすための施策は考えているのか。
生活環境課長 年数も経ち古くなった物件もあるが、新たに登録していただき契約成立ができるよう、空き家バンクの魅力発信を行っていききたい。

き家は、平成21年の調査で760件、令和2年度末で643件ある。空き家バンクだが、平成24の事業開始後277件の物件登録があり、そのうち175件が契約成立した。また、利用登録者数は544件である。

為藤議員 個人の財産なのでスムーズにいかないと思うが、他課と連携して事業を進めてもらいたい。

為藤議員 個人の財産なのでスムーズにいかないと思うが、他課と連携して事業を進めてもらいたい。



福岡県北部市議会議長・副議長会



福岡県北部市議会議長・副議長会の様子

令和4年10月12日に「福岡県北部市議会議長・副議長会」が北九州市で開催され、尾澤議長と郡司掛副議長が出席しました。

議案審議の結果、「外国籍の子どもたちに対する日本語教育の充実について」を提出議案として、10月24日に行橋市で開かれる「福岡県市議会議長会」に提出することを決定しました。

議会事務局からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、11月上旬に予定しておりました令和4年度の議会報告会は、やむを得ず中止といたしました。皆様には申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

ようやくのぎやすくなったと思えば、もう肌寒い季節に。この頃思うのですが、以前は秋と春がもう少し長く楽しめたのではと？

何故なのかと考えを巡らせると、地球温暖化のせいなのでは？

引き起こしたのは？

物が溢れ浪費したツケがこういう結果になったのではと？

日本のプラスチックごみは世界第2位。この小さな国がです。

一人一人の取り組みによって減量しなければ、次世代に負の遺産を残す事になります。

明日から回りを見渡して、プラスチック製品を最小限に利用しましょう。

未来のために！！

郡司掛 八千代

次回の定例市議会は
12月です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴については、状況によりご遠慮いただく場合がありますので、詳しくは議会事務局へお問合せください。
本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会

検索

編集

編集委員会

委員長：梅丸晃

副委員長：為藤直美

委員：村上勝二 郡司掛八千代

秋成英人

印刷

築上印刷有限会社